

兵庫・神戸と海外との 経済発展につなげる!

この任期中、国際都市神戸・兵庫と海外との友好を深め、人的交流や企業誘致協定など相互に恩恵が受けられる関係作りに取り組んできました。

■インド

今後、急成長が予想されているインド。ガンジー生誕の地として有名なグジャラート州は人口6,000万人を抱える経済都市で、兵庫県とは2001年に発生したインド西部地震（犠牲者2万人以上）への支援として1億7千万円の義援金を贈ったことから交流が始まりました。

平成28年8月、友好関係の深化を進めるために井戸知事の親書を携えルバニ州首相と面会し、友好協定締結の要請を行うとともに、経済分野や学術・教育分野での交流を提案して

きました。それは、同年10月の正式な覚書締結に結びつきました。今後、インドでの新幹線事業での貢献が期待されています。



ルバニ州首相と面談

県がインドの州と覚書
あす締結 学術、防災で交流促進

インドのグジャラート州を訪問し、兵庫と友好関係を築く。県民から寄せられた義援金約1億7500万円を基に、グジャラート州もまた、経済交流など「ひとふたつ」を軸に、相互協定に関する関係を探りたい考え、トランプ基金を設立、スクールプロジェクト、2011年のインド西部大震災の被災地から、学術や防災、文化、防災、環境な分野での交流を促進。分府の協定を締結。その後、モディ首相が、同州を訪問した。同州首相は、12月12日に兵庫を訪れ、井戸

平成28年10月11日 神戸新聞朝刊より

■中国

以前から交流のある中国海南省。平成27年12月に現地高校と兵庫県の高校との交換留学の協定づくりを目的に複数の高校を訪問しました。

その結果、28年度より工業高校同士の相互交流が試行的に行われ、29年度より定期的な交換留学制度が実施されています。



■パラオ



天皇陛下のご訪問で脚光を浴びたパラオ。兵庫県とは、パラオがアメリカ統治下にあった時代、最初に海外と友好協定を結んだ相手が兵庫県だったという特別な関係にあります。

平成29年11月、知人を介してパラオ・レメンゲザウ大統領を兵庫県に招聘し、井戸知事とともに面談しました。今後、観光分野での関係強化をめざしています。

*兵庫県公館の屋上噴水に飾ってある「しゃこ貝」は、友好協定締結を記念してパラオから贈られたもので、現在も活躍しています。（左写真）



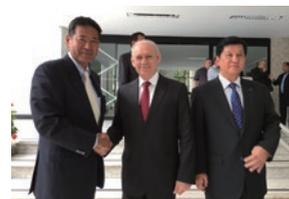
■ネパール

3年前に大きな震災があり、1万人以上の犠牲者が出たネパール。兵庫県でも当時「チームネパール」を結成し、義援金の提供や専門家派遣などの支援を行ないました。向山好一は、平成28年よりまだ傷跡の残るカトマンズ郊外の孤児院を訪問し、兵庫県の特産品の提供などの支援を行なっています。



■ブラジル

神戸が移民の出発地点であったブラジル。友好州であるクリチバ州はじめ、各地に兵庫県人会があり関係強化を行っています。



■ベトナム

今後、労働者の流入が予想されるベトナム。受け入れ側の課題把握のため現地での人材育成がどうなっているのかを調査。

